

平成 23 年度第 4 回（99 回）

清瀬市まちづくり委員会議事要旨

日 時：平成 23 年 10 月 18 日午後 3 時から

場 所：健康センター第 3 会議室

出席者：下嶋一義、伴貞男、青山茂昭、戸塚弘、大森正子、織田祐輔、長縄宜幸、原剛、金子祐輝、増田恵美子、大久保實、齋藤徳次郎、佐藤勝栄、神吉正代、阿久津たか子

事務局（市民協働係長、企画課主事）

欠席者：円城寺修、赤石達樹、今瀬千佳子、鈴木晃

<配布資料>

- 1 平成 23 年度第 3 回（第 9 8 回）清瀬市まちづくり委員会議事要旨
- 2 まちづくり委員会への提案内容に対する審議結果について（報告）（案）
- 3 平成 23 年度まちづくり委員会開催会場
- 4 提案「リスクコミュニケーションの強化を」資料
- 5 まちづくり提案審議 進行表

## 1 開会

【通常なら前回の議事要旨の確認からであるが、社会福祉協議会の方が同席しているので先に提案「緊急時連絡手帳・連絡カードの実施」について議事にかけることとした。】

委員長：東村山の社会福祉協議会にヒヤリングをしてきた。東村山では基本的にカードについては本人の同意のもと自己責任で使用者が自ら必要な情報を記入してもらい、社会福祉協議会は責任を負わないとのことであった。平成 19 年に完成し、製作した経緯としては障害者の方が犯罪や事故にあった際にカードの提示により身分等を判明することが出来るため導入した。製作するまでに関係する方々にも意見をもらい完成させた。問題としては一般の方がカード使用者を救助する際、カー

ドの存在自体を知らないことがあると意味をなさない点である。カードを配る際に警察関係に周知徹底を行った。実際使用してからどのような効果を出したかモニタリング出来ていない。自分の個人情報を自分で管理しているのでリスク管理は問題無いと伺った。清瀬で行うならば、やはり発行した以上みんなに周知するべきであると考えた。今回社会福祉協議会の星野氏がお見えなので意見を伺いたい。社会福祉協議会としてはどうか。

星 野：これは対象についてであるが全市民なのか。

委員長：委員会の考えとしては現在そうである。

星 野：対象が障害者なのか全市民なのかを考えて作っていく必要があると思う。地域によっては特定の対象者を相手に行っている場合もある。

委 員：清瀬の社会福祉協議会として行うことについてどう考えているか。

星 野：現状としては具体的に考えていないが、地域レベルからこのような話が上がってくるのであれば社会福祉協議会も協力したい。

委 員：仮に救護が必要な障害者がいた際、カードを持っていても人の物なので手を出しにくい。

委 員：社会福祉協議会になにか障害者が救護を要した話が入っているか。

星 野：高齢者が迷子になる場合が多い。仮にカードがあつたら効果的である。

委 員：社会福祉協議会の方から市民に聞きに行くぐらいの姿勢が欲しい。まず調査をして、必要な項目を把握するのが必要である。

委 員：基本的には東村山がやっているので支障が無ければ問題ないと思う。

委 員：健常者を含む、障害者の方にも必要であるかアンケートを行うべきである。

星 野：社会福祉協議会において、障害者や高齢者を括りとして設けるのであれば社会福祉協議会が主導で行う。全市民が対象であれば市が施策として行っていくべきではないか。

委 員：小中学生も弱者であるので、今後このようなカードがあると保護者としては便利である。

委 員：まちづくり委員は公募や団体から構成されているので、各委員のバックグラウンドで周辺でアンケートを取りまとめるのはいかがか。

委 員：市民のための方策として行うので市民に対して意向を聞くべきである。

委 員：個人情報がこの中に全て入ってしまうので気をつけるべきである。

委員長：このカードについては自分で管理し、自分で記入し、どこまで書くのかも個人に委ねている。よって自分の命は自分で守る道具であると考えている。

委 員：アンケートをとるのを賛成である。一般の方がどう思うのか知ることが必要である。

【アンケートをとることに決定した。アンケート案は委員が後日作ってくることとなった。】

委員長：前回の議事要旨及び審議結果の報告について確認願いたい。

【前回の議事要旨及び審議結果の報告について委員が確認を行った。】

委員長：私も委員として意見があるのだが、議事録で提案者の回答としてまとめた三点のうち、二つ目「木を残すにあたり、将来大田和公園を整備するであろう緑と公園課はその意志をどう答えてくれるか対応を伺う。」であるが、その後の対応について述べられておらず、伝えるだけとなっているので訂正した方が良いと思う。

委員：内容としては樹木に対して緑と公園課の意見を求めるためである。

委員：最低限この提案者は樹木を切らないでほしいとの意向である。

委員長：この件については私が勘案し、次回の会議で委員の皆さまに見ていただく形でいかがか。

<了承>

委員長：提案「リスクコミュニケーションの強化を」についての話し合いに移りたい、資料は市内の防災備蓄物資を見ていただきたい。

委員：備蓄の数に関しては自治体ごとに取り決めがあるのか。

委員長：取り決めはないと思う。

<次回は11月15日火曜日午後3時とする。>